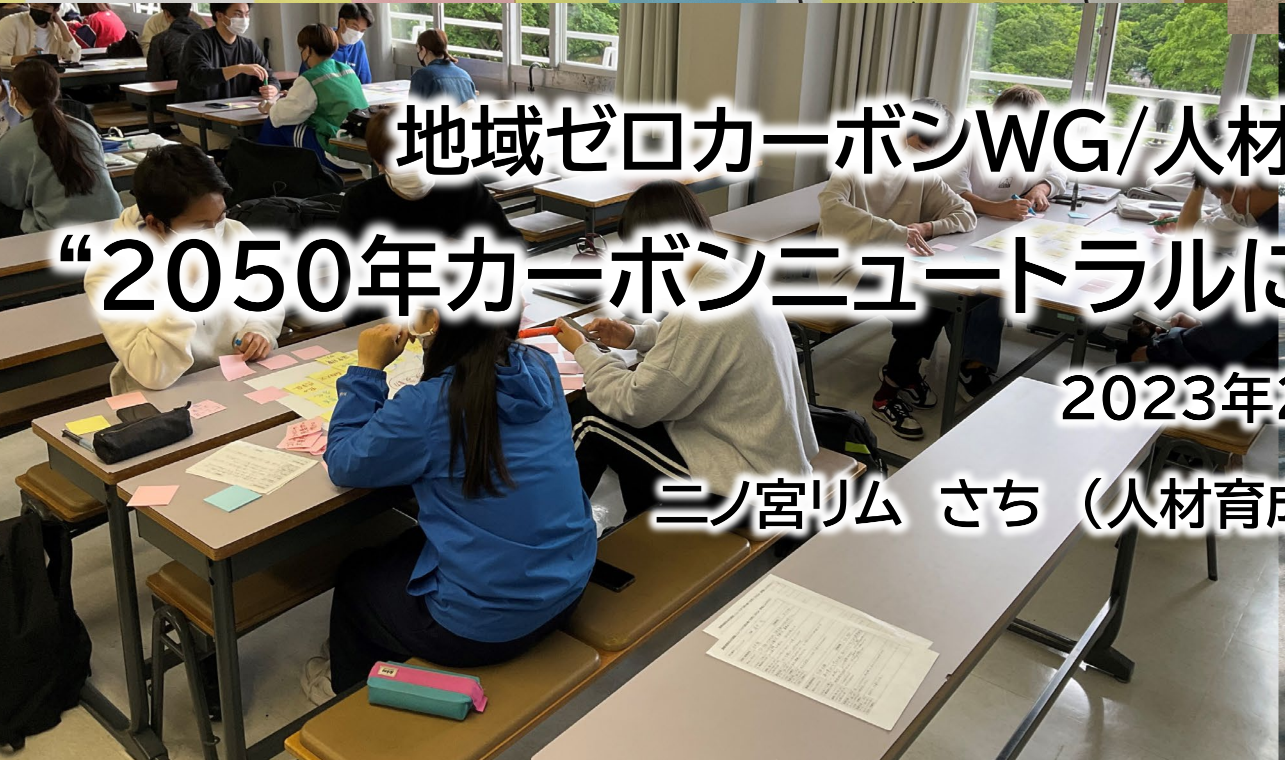


CN達成に貢献する大学等コアリション

人材育成WGの活動経緯・展望

地域ゼロカーボンWG/人材育成WG合同シンポジウム

“2050年カーボンニュートラルに向け、地域で活躍する人づくり”

2023年2月21日

二ノ宮リム　さち（人材育成WG幹事機関・東海大学）

人材育成WG参加(61)・協力機関(7)

北海道大学	三重大学	横浜市立大学	慶應義塾大学	立教大学	長浜バイオ大学	第一工科大学
岩手大学	滋賀大学	名古屋市立大学	聖心女子大学	国際基督教大学	京都女子大学	【協力】科学技術振興機構
山形大学	京都工芸繊維大学	大阪公立大学	専修大学	成蹊大学	京都光華女子大学	【協力】理化学研究所
宇都宮大学	奈良教育大学	山口県立大学	中央大学	明星大学	同志社大学	【協力】産業技術総合研究所
千葉大学	奈良女子大学	北九州市立大学	東海大学	事業構想大学院大学	関西大学	【協力】新ｴﾈﾙｷﾞｰ・産業技術総合開発機構
東京学芸大学	山口大学	大阪公立大学工業高等専門学校	東京電機大学	麻布大学	広島工業大学	【協力】地球環境産業技術研究機構
富山大学	九州大学	東日本国際大学	東京理科大学	新潟国際情報大学	広島修道大学	【協力】ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙｷｬﾝﾊﾟｽ推進協議会
金沢大学	琉球大学	足利大学	東邦大学	新潟薬科大学	福山大学	【協力】社会デザイン協会
東海国立大学機構	宮城大学	放送大学	法政大学	愛知みずほ大学	日本文理大学	
愛知教育大学	秋田県立大学	青山学院大学	東京都市大学	愛知工業大学	別府大学	

順不同・黄色＝幹事機関

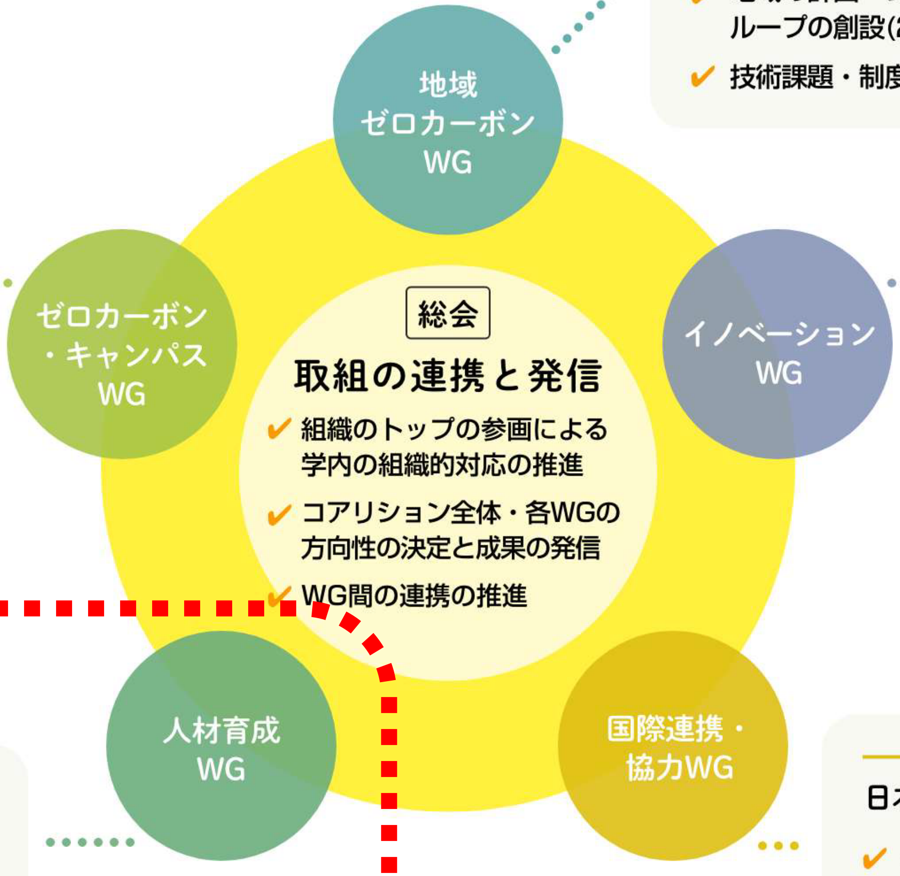
人材育成WG

キャンパスをゼロカーボン化する

- 大学の形態・特性に応じた脱炭素化モデルの構築と横展開（2022までにモデルの方向性の整理）
- WG全参加大学による方針とロードマップ等の策定(〜2025)
- 国際的枠組み(Race to Zero等)への参画の推進

地域をゼロカーボン化する

- 自治体ネットワーク等と連携した、取組と成果共有のためのワークショップの開設(2022)
- 地域の計画・シナリオ策定に役立つ知見を創出する研究グループの創設(2021)
- 技術課題・制度的課題等の抽出ととりまとめ



研究開発と社会実装の推進のため産学官民連携を強化する

- カーボンニュートラルを共通の目標とする新たな産学官民連携枠組みの創設(2022)
- 新たな技術や価値観、行動様式創出のための人文・社会科学から自然科学までの研究者等が議論する場等の創設の検討

カーボンニュートラル人材を育成する

- カーボンニュートラル人材の在り方、必要な要素等の議論(〜2022)
- 大学間連携による共同教育プログラムや教材等の創設(〜2025)
- 企業、自治体、大学等間の人材交流の推進

日本と世界をつなぐ

- 米国・欧州等の大学ネットワーク等との連携
  ・「日米大学等合同検討会」(仮称)の設立(2021) 欧州や国際的枠組み等との連携強化
- 新規開拓分野（地域の社会変革のための分野横断的研究、デジタル×グリーン等）の研究者交流の推進(2022〜)
- 国際連携による教育プログラムの研究・創設(2022〜)

カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション
ウェブサイトより
https://uccn2050.jp/working-group/

カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション
人材育成WGの活動実績（2021年10月-2022年度総会まで）

10月　11月　12月　1月　2月　3月　4月　5月　6月　7月

運委（10月）　WG（11月）　WG（1月）　WG（3月）　WG（5月）　WG（7月）

年間活動計画確定

WG参加大学アンケート

◆WG各大学による取組事例発表・共有

①共通・教養教育：CNリテラシー・社会変革コンピテンシー育成
②専門教育：各専門領域における知識・技術、領域間連携
③課外・実践活動：学外連携・サステナブルキャンパスなどの実践
④一般市民・小中高生対象：①②の視点を含む社会教育的展開

※WG参加大学アンケートの結果を踏まえ、共通要素のある事例（カテゴリー、テーマ等）ごとに共有するWG回を決定
※各大学で取組を開発・検討しつつ可能性・課題の両面を共有

◆気候変動教育の先進事例・効果的な指導法等に関する情報収集

・高等教育機関のほか、政府・市民団体等による先進的取組事例の共有
・Japan and US Bilateral Climate Coalition Workshop（国際連携・協力WG）でのEmory University他との経験交流

⇒CN人材像・育成／教育のあり方について議論・検討

⇒実践・教材の改善・開発もできるところから進める

※各回WGでの議論のほか、収集した情報や議論・検討した内容をWG全体で共有できる場（Slack等）を活用

CN人材像＆育成方法の整理・検討とりまとめ

大学等間連携プロジェクト（共同教育プログラム＆教材開発）計画策定

人材育成WG公開シンポジウム　8月30日

2022年度総会　9月20日

CN人材育成事例共有：共通教育・教養教育（2022/1/17）

選択型共通・教養科目

山形大学「YU empowering with SDGs
　～ローカルSDGsの実践～」
関西大学「SDGs入門」「SDGsの実践」
　「カーボンニュートラル（仮・予定）」など
北九州市立大学「未来を創る環境技術」「環境問題特別講義」
　「環境問題事例研究」

山形大学

全学必修科目・全学カリキュラム

広島工業大学「自校教育論（全学必修科目）」
　～第3回「各学部の教育目標とSDGs」
東海大学 “パブリック・アチーブメント（PA）型教育”
　「シティズンシップI・II／地域理解／国際理解」

東海大学

特別プログラム

岐阜大学
「次世代地域リーダー育成プログラム」

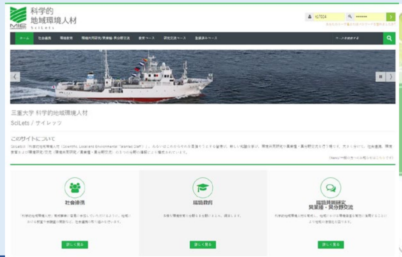
CN人材育成事例共有：専門教育（2022/2/21）

専門科目
岩手大学人文社会学部「地域環境マネジメント実践演習」→「岩手大学環境管理実務士」

大学院分野横断型・実践的プログラム
同志社大学「『次の環境』共創コース」～「フューチャーデザイン演習」
北海道大学「One program for Global Goals」
名古屋大学「臨床環境学研修」

名古屋大学

リカレント教育プログラム
三重大学「科学的地域環境人材育成（SciLets）」
→「科学的地域環境人材【アナリスト】【エキスパート】認定」



プラットフォーム
同志社大学「カーボン・リサイクル教育・研究プラットフォーム」

教員養成・教材開発
愛知教育大学「エネルギー・ミックス」「SDGs街づくり」
「Play Decide」「SDGsかるた・すごろく」「校外学習用ワークシート」

CN人材育成事例共有：課外・実践活動(2022/3/23)

企業・NPO等連携プロジェクト

東日本国際大学「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト(NPOピープル)」
麻布大学「環境科学科×アサヒ×ウォータースタンド～産学連携によるCNに向けた取り組み」

麻布大学

学生自主プロジェクト促進・支援体制

山口大学「おもしろプロジェクト」
東邦大学「生命圏フューチャーセンター」

山口大学

学生主体の環境マネジメントの推進

千葉大学「学生主体で進める大学の環境マネジメントシステムと
キャンパス内樹木の吸収固定量測定」

大学間連携プラットフォーム

サステイナブルキャンパス推進協議会

CAS-Net JAPAN
Campus Sustainability Network in JAPAN

CN人材育成事例共有：一般市民・小中高生対象
（2022/4/18, 4/27）

学外一般向け講座・プログラム

山形大学・リコージャパン「山形県若者向け環境SDGsワークショップ」（高校生・大学生・教員等）

成蹊大学「地球温暖化とわたしたちの未来」（小学生）／「けやき循環プロジェクト」
（小中高大学＋地域ボランティア）

秋田県立大学「秋田の再生可能エネルギーをテーマとした企業および地域の人材育成」（一般向け）

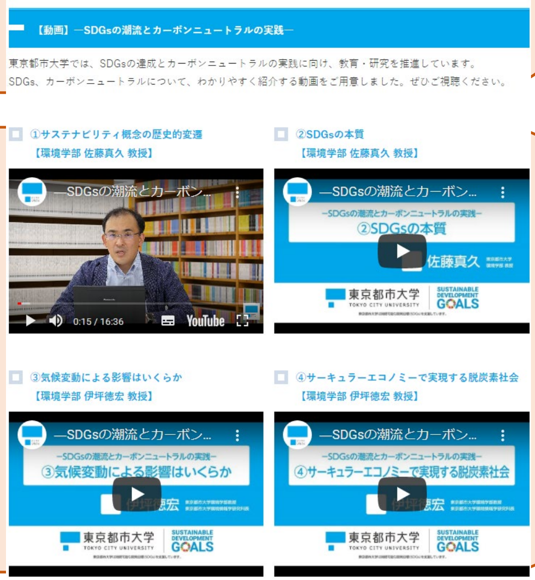
足利大学「風力エネルギー・自然エネルギー利用総合セミナー」（産官学関係者）
「あしかがエネルギー環境教育研究会」（小中学生・教員）「サイエンスキャンプ」（高校生）など

聖心女子大学「BE＊hive：展示・ワークショップ・教材制作」（一般）

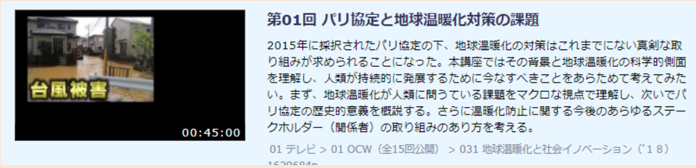
聖心女子大学

公開動画講座

東京都市大学「動画―SDGsの潮流とカーボンニュートラルの実践―」
放送大学・OCW「地球温暖化と社会イノベーション」



東京都市大学



放送大学

公開シンポジウム「カーボンニュートラル時代を拓く人材育成とは」

2022年8月30日(火)・オンライン

開会挨拶	総合地球環境学研究所 副所長	教　授	谷口 真人
報　告	「人材育成 WG における今年度の経緯と到達点」		
	東海大学 スチューデントアチーブメントセンター	准教授	ニノ宮リム さち
ゲスト講演	「CN 時代を拓く人材育成―大学への期待と課題」		
	一般社団法人 Climate Integrate	代表理事	平田 仁子
講　演	「CN 人材育成今後の議論の方向性を考える		
	－オンラインリカレント教育の場合を例に－」		
	三重大学 科学的地域環境人材育成事業	名誉教授	佐藤 邦夫
パネルディスカッション	～上記報告者・講演者のほか～		
	IS ホールディングス株式会社	代表取締役 社長	遠藤 昭二
	環境省自然環境局生物多様性主流化室	室　長	浜島 直子
	北九州市立大学 経済学部	教　授	牛房 義明
座長・進行	宮城大学 事業構想学群	教　授	小沢 晴司
閉会挨拶	東海大学 環境サステナビリティ研究所	所　長	森本 英香

CN 達成に貢献する大学等コアリション人材育成 WG 公開シンポジウム

カーボンニュートラル時代を拓く人材育成とは

CN 達成に貢献する大学等コアリション人材育成 WG では、これまで 7 回の WG を開催、各団体からの事例報告や意見交換を行ってきました。議論の経緯と到達点の再確認、今後の CN 人材育成の展望や課題について理解を深めるべく以下の通りオンライン・シンポジウムを開催いたします。

2022 年 8 月 30 日（火）14：00～16：00（13：50 入室開始）

◆会 場：オンライン　◆参加対象：コアリション人材育成 WG 参加団体ほか一般（参加無料）

開会挨拶	総合地球環境学研究所 副所長	教　授	谷口 真人
報　告	「人材育成 WG における今年度の経緯と到達点」		
	東海大学 スチューデントアチーブメントセンター	准教授	ニノ宮リム さち
ゲスト講演	「CN 時代を拓く人材育成―大学への期待と課題」		
	一般社団法人 Climate Integrate	代表理事	平田 仁子
講　演	「CN 人材育成今後の議論の方向性を考える		
	－オンラインリカレント教育の場合を例に－」		
	三重大学 科学的地域環境人材育成事業	名誉教授	佐藤 邦夫
パネルディスカッション	～上記報告者・講演者のほか～		
	IS ホールディングス株式会社	代表取締役 社長	遠藤 昭二
	環境省自然環境局生物多様性主流化室	室　長	浜島 直子
	北九州市立大学 経済学部	教　授	牛房 義明
座長・進行	宮城大学 事業構想学群	教　授	小沢 晴司
閉会挨拶	東海大学 環境サステナビリティ研究所	所　長	森本 英香

本ちらしの海藻の森の写真は、「ラムサール条約湿地志津川湾」ハンドブック掲載のものです。

平田仁子　一社 Climate Integrate 代表理事 米環境団体活動参加後 NPO 法人気候ネットワークで活動。2021 年ゴールドマン環境賞受賞。著書『気候変動と政治』成文堂(2021)ほか多数。千葉商科大学大学院客員准教授。博士（社会科学）

ニノ宮リム さち 東海大学スチューデントアチーブメントセンター 准教授　1990 年代末より国内外の地域社会や大学等で環境教育・ESD（持続可能な開発のための教育）を推進。東海大学では全学必修シティズンシップ教育として ESD を展開。 日本環境教育学会気候変動教育研究会幹事。

浜島直子 環境省生物多様性主流化室長 2003 年環境省入省。炭素税の制度設計、自治体の温暖化対策支援、公害健康被害補償制度の運営、東電福島原発事故後の除染等に携わる。2020 年千葉商科大学でコアリション・ゼロキャンパス WG 担当。2022 年 8 月より現職

谷口真人 総合地球環境学研究所副所長　理学博士。日本学術会議連携会員。Future Earth Nexus KAN 運営委員。主な編著に "The Dilemma of Boundaries",「地下水流動：モンスーンアジアの資源と循環」などがある。専門は水文学・地球環境学。

小沢晴司　宮城大学事業構想学群教授　福島大学客員教授ほか。2009 年～滋賀県立大学で環境人材育成事業を担当。2012 年～8 年間 環境省 福島環境再生本部長等として除染等担当。専門は景観史や森林学。2014 年度日本造園学会田村剛賞受賞。博士(環境科学)

佐藤邦夫 三重大学科学的地域環境人材育成事業担当名誉教授　1979 年 三重大学赴任。以来食料生産システム学、環境情報システム工学専攻。2019 年 3 月大学院生物資源学研究科教授定年退職。2019 年 4 月より三重大学国際環境教育研究センター勤務。博士（農学）

遠藤昭二　IS ホールディングス代表取締役社長　福島県猪苗代町出身。2018 年 IS ホールディングス創業、2020 年 DMC aizu 設立、福島復興等のための会津観光振興や、グループ傘下（株）グリーン電力エンジニアリングで国内各所において小水力発電施設による CN 等推進。

牛房義明 北九州市立大学経済学部教授　1971 年大阪生まれ。京都大学大学院修了（博士、経済学）。2001 年北九州市立大学経済学部に講師として赴任。現在北九州市立大学経済学部教授。専門分野は環境経済学、エネルギー経済学。

森本英香　東海大学環境サステナビリティ研究所所長・早稲田大学法学部教授　元環境事務次官。約 4 0 年一貫して環境行政に携わる。水俣病・アスベスト被害対策、海洋プラスチック等循環資源対策に関わるとともに、東日本大震災以来、原子力規制委員会の設置・運営や福島の再生・復興に関与。「里地からの変革」（共著　1995 年　時事出版）等

主　催：カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション人材育成ワーキンググループ
共　催：東海大学 環境サステナビリティ研究所
問合せ先：skankyo@ab.mie-u.ac.jp（三重大学）
参加登録：https://onl.tw/q9Ajg5K
右 QR コードからも参加登録できます
参加登録 記入期限：8 月 25 日（木）

カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション
人材育成WG活動計画（2022年10月-2023年度総会まで）2022.9.6確定版

10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月

WG（10月） PT（11月） WG（1月） PT（2月） WG（4月） PT（6月） WG（8月）

各プロジェクト参加機関・年間活動計画確定

CN人材開発／教育を推進する５つのプロジェクトチーム（PT）

※（）内は各チームをとりまとめる担当委員機関

教材共有・開発～大学・NPO・行政等による先進的な教材の収集・共有と新教材開発
（山形大学・東海大学）

共同授業・プログラム～各機関の特色を生かした連携教育プログラムの開発
（足利大学・山形大学・三重大学）

共同イベント～CNに関わる学生間交流等の場・機会づくり
（関西大学・慶応義塾大学・東日本国際大学・広島工業大学・山形大学・宮城大学）

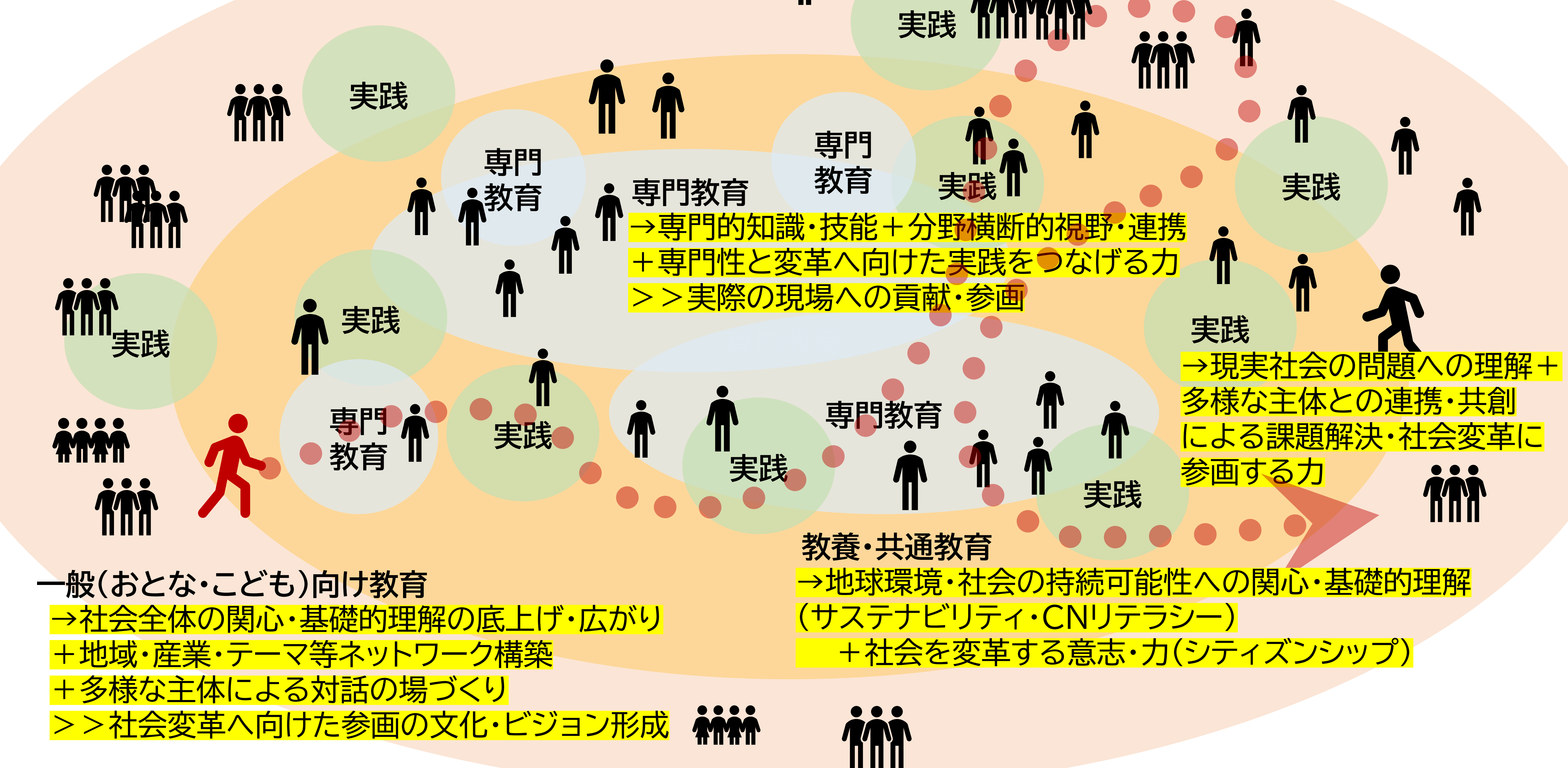
資格・認定制度～産官学のニーズに応じるCN人材認定制度の検討（三重大学）

CN人材育成研究～CN人材育成の実態把握・方向性提示・評価枠組策定等
（北九州市立大学・山口大学・東海大学）

成果共有シンポジウム

2023年度総会

大学のCN人材育成


実践
実践
専門
教育
専門教育
→専門的知識・技能＋分野横断的視野・連携
＋専門性と変革へ向けた実践をつなげる力
＞＞実際の現場への貢献・参画
専門
教育
実践
実践
実践
実践
実践
→現実社会の問題への理解＋
多様な主体との連携・共創
による課題解決・社会変革に
参画する力
専門
教育
実践
実践
専門教育
実践
教養・共通教育
→地球環境・社会の持続可能性への関心・基礎的理解
（サステナビリティ・CNリテラシー）
＋社会を変革する意志・力（シティズンシップ）
一般（おとな・こども）向け教育
→社会全体の関心・基礎的理解の底上げ・広がり
＋地域・産業・テーマ等ネットワーク構築
＋多様な主体による対話の場づくり
＞＞社会変革へ向けた参画の文化・ビジョン形成